

第二期青森市国保データヘルス計画（案）概要

◎第二期青森市国保データヘルス計画策定のポイント

第一期で定めた保健事業の実施内容や課題等について整理したほか、健康・医療情報の分析と、分析結果に基づく健康課題を明確化し、平成 30 年度から平成 35 年度までの保健事業に係る実施計画を策定します。

◎本市の現状及び健康課題（P3～5、P12～27）

1 青森市全体について

- (1) 主要死因別死亡率では、悪性新生物が全体の 3 割を占めている。
- (2) 標準化死亡比では、男女共に腎不全による死亡が高い。

2 特定健康診査・特定保健指導について

- (1) 特定健康診査受診率は、年々上昇傾向にあるものの、国の目標値に達していない。
- (2) 特定保健指導実施率は、上昇傾向にあるものの、国の目標値に達していない。
- (3) 内臓脂肪症候群該当者及び予備群者のうち「高血圧」のリスクを保有する者が多い。
- (4) 特定健康診査結果について、男女共に BMI、ALT（GPT）、血糖、HbA1c の異常値割合が多い（国を基準とする）。
- (5) 特定健康診査生活習慣は、「1 日 1 時間以上運動習慣なし」「食べる速度が速い」「週 3 回以上夕食後に間食」「1 日飲酒量が 2 合以上」「改善意欲なし」と回答した割合が多い（国を基準とする）。

3 医療について

- (1) 医療費総額は減少傾向にあるが、一人あたりの年間医療費は、青森県より高く、年々増加傾向にある。
- (2) レセプトによる生活習慣病データでは、糖尿病や高血圧症の医療費割合が多く、また、高血圧症・脂質異常症・糖尿病が保有リスクとして多い傾向にある。
- (3) 歯肉炎及び歯周疾患の件数が多い。

4 介護について

- (1) 介護認定者のうち、心臓病・高血圧症・筋・骨格系疾患の有病率が高い。

◎取組の方向性（P28～36）

- 1 特定健康診査受診勧奨及び未受診者に対する受診勧奨を行い、受診率の向上を図る。
- 2 特定保健指導未利用者に対して利用を勧め、内臓脂肪症候群該当者及び予備群者を減らす。
- 3 高血圧症や糖尿病等の発症予防や脳梗塞や狭心症等への重症化予防のための生活習慣病対策（肥満対策・禁煙支援・運動習慣・食生活等）を行う。
- 4 医療費適正化のため、訪問保健指導の充実を図る。
- 5 がんの早期発見、早期治療のため、各種がん検診受診勧奨と各種がん検診精密検査受診勧奨を行う。
- 6 歯肉炎及び歯周疾患の医療費件数を減らすため、口腔の健康づくり対策を行う。